

## 市民と歩む議員の会

## 議会報告

## いそがわ ゆか Ver.21



皆様、いつも、会派・議員活動等にご理解いただきありがとうございます。

吹田市においても、10月20日現在で累計400名を超える方が新型コロナウイルス感染症に罹患されています。罹患された方々にお見舞い申し上げます。

新型コロナウイルス感染予防を徹底して開かれた8月臨時会の報告と9月定例会等の活動報告です。(一部抜粋。詳しくは議事録・SNS等にてご覧ください)

これからも皆様からの大切なお声をお寄せください。

## 【新型コロナウイルス感染症対策等の取組みについて】

8月臨時会・9月定例会等の市議会会派等の動きと会派代表質問等について、以下、報告します。

## ○政府への意見書提出(一部抜粋)

・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し、地方税財源の確保を求める意見書を賛成多数で提出。(賛成30反対5)

・コロナ感染対応等における保健所機能の充実と地域医療機関に対する支援強化を求める意見書を賛成多数で提出。(賛成30反対5)



## ○代表質問より(一部抜粋)

## 【吹田市の感染者が多い理由と原因分析は?】

Q.吹田市が、近隣の茨木市、高槻市、尼崎市、西宮市、豊中市と比較して、新型コロナウイルス感染症感染者が明らかに多い理由を、市はどのように分析しているのか。

A.本市の新型コロナウイルス感染者が近隣自治体と比較して多い理由については、他市と比較し、検査実施件数が多いこと、また、本市は感染者数の多い地域と隣接していることなど、様々な要因によるものと考えている。

→吹田市の検査数が多くなったのも最近で、検査数が少ない時から吹田市は感染者は多かった。隣接地域は豊中市、尼崎市と同条件です。ご答弁からは感染者の実態などからの分析をされてないということが明らかとなりました。

## 【罹患の疑いのある方ご自身が、市内2か所のみの回収センターに検体を持っていくのは、その方への配慮や感染のリスク管理に欠けていないか?是正を!】

Q.市はPCRセンターが開設されるまで、かかりつけ医の判断で、検体キットを渡して市民の方ご自身で検体を採取し、市内2ヶ所の検体センターへ

持っていく事業を実施されるとのことだが、市民の方々が医療従事者の目が届かないところで検体採取をするのは問題はないが、疾患を負っている方の代理人や郵送等の対応はできないというのはどういう理由からなのか。

A.本人ご持参が原則ではないかと考えているが、本人の状況によっては、柔軟に対応する場合もあるかと考えている。(理由はお答え無しでした)  
→その後、委員会でも質疑を重ねましたが、郵送対応はなし。代理人等の対応は必要に応じること。さらに、検体持参者は公共施設内トイレ等は利用させない。とのことでした。(皆さんは、この市の見解をいかがお感じでしょうか。..)

## 【NPO等への支援の必要性について】

Q.ようやく吹田市は市民公益活動センター(ラコルタ)を通じて、市民公益活動団体に対してヒヤリングをされました。その内容をお答えください。

A.掲載団体273団体のうち30団体を抽出してヒヤリングを行った。主な内容は、会議やイベントの中止または休止に関するものが29件、通常の活動場所の利用制限が20件、収入の減少が16件、在宅での活動の導入が5件であった。

→前回定例会の時、市は、「市独自の給付金を求める声はなかった」と答えておりましたが、結果の通り、収入の減少が過半数以上の団体からお声が上がっていることが明らかになりました。

吹田市はこういったお声を受けても、NPO等の活動については、なんら支援をされないという方針を曲げないのでしょうか。

引き続き、市の対応を注視し、求めていきます。活動している方々はじめその活動に参加している方々等からの幅広いお声をお待ちしています!!

# ～初のオンライン会派議会報告会を実施しました～

8月23日、市民と歩む議員の会の議会報告会を初めてオンラインにて開催しました。（議員3人はそれぞれ事務所から）ファシリテーターの方の進行で、市民活動をしている方をゲストスピーカーに迎え、議会質疑等の報告とコロナ感染の影響を受けている市民活動の実態、そして、参加者からもコロナの影響による活動の制限や市の対応の情報共有、意見交換をさせていただきました。

吹田市の支援の手がなかなか届かない市民活動の実態を再認識し、支援の必要性をあらためて強く訴えていきたいと思っております。ご参加いただきました方々ありがとうございました。



## 【子どもたちの居場所～留守家庭児童育成室の民間委託・少人数学校等について～】

○来年度の民間委託事業者の選定について、8月に突然、選定候補の育成室が決まりました。「コロナ感染症対策を最優先して対応をしている中、このまま留守家庭児童育成室の民間委託を進めて良いのか。」と当該保護者の多くの方、また、地域団体の方からもご不安やご心配のお声があがりました。（東佐井寺地区からは陳情、西山田地区からは請願）いそがわは、選定スケジュールの妥当性、地域への情報共有、新型コロナウイルス感染症対策の徹底など、児童と保護者に寄り添う対応を強く求めました!!

○コロナ感染のリスクが高い密状態になってしまっている通常授業の教室について、オンライン授業の整備や少人数学級の早期実現に向けて、保護者の方々から陳情がありました。いそがわは、分散登校時は、密状態が避けられていた実態を踏まえ、また、大阪府内の中核市においては児童へのきめ細やかな指導体制として少人数学級制等を実施しているところであり、吹田市も早急に必要なことを求めました!!



なお、上記以外にも、9月定例会代表質問においては、新型コロナウイルス感染症に関する保健所等の対応の実態、同感染症に対する国からの通知等の市の取組み、コロナの影響でイベントなどを市が中止すると決定をしたそのプロセスを市民に明らかにしない市の体制の改善や情報公開制度の裁判結果とその対応、また、市の情報提供、市長のコロナ感染期における休暇など、様々な課題・問題に対して質疑・問題提起を行いました。

## 令和2年9月定例会の主な議案・意見書採決表 (抜粋)

市長から提案された議案等（予算、条例、国や府への意見書）のうち、賛否の分かれた議案の一部です。（意見書：※地方自治法第99条 普通地方公共団体の議会は、当該普通地方公共団体の公益に関する事件につき意見書を国会又は関係行政庁に提出することができる。） **個人賛否は以下の表のとおりです。**

1. 請願第2号：コロナ影響下の留守家庭児童育成室の民間委託の延期について **賛成 11 反対 24 不採択**
2. 請願第3号：吹田市小規模事業者応援金の対象にならなかったフリーランス及び小規模事業者の救済を求める請願について **賛成 15 反対 20 不採択**
3. 市会議案第15号：日本政府に核兵器禁止条約への参加を求める意見書 **賛成 13 反対 22 否決**
4. 市会議案第18号：保健所機能の充実と地域医療機関に対する支援強化を求める意見書 **賛成 30 反対 5 可決**

賛成者 ○ 反対者 × 退席者 退

議員名	1				2				3				4				
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	
市民と歩む議員の会	五十川有香	○	○	○	○	吹田新選会	有澤 由真	×	○	×	○	大阪維新の会・吹田	高村 将敏	×	×	×	×
	池淵佐知子	○	○	○	○		石川 勝	×	○	×	○		橋本 潤	×	×	×	×
	馬場慶次郎	○	○	○	○		後藤 恭平	×	○	×	○		斎藤 晃	×	×	×	×
民主・立憲フォーラム	西岡 友和	×	×	○	○	民主・立憲フォーラム	木村 裕	議長					松尾 翔太	×	×	×	×
	川本 均	×	×	○	○	山本 力	×	×	○	○	井口 直美	×	×	×	×		
公明党	浜川 剛	×	×	×	○	日本共産党	益田 洋平	○	○	○	○	自由民主党 絆の会	泉井 智弘	×	×	×	○
	矢野伸一郎	×	×	×	○		村口久美子	○	○	○	○		澤田 直己	×	○	×	○
	井上真佐美	×	×	×	○		山根 建人	○	○	○	○		白石 透	×	×	×	○
	野田 泰弘	×	×	×	○		玉井美樹子	○	○	○	○		石田 就平	×	×	×	○
	小北 一美	×	×	×	○		柿原 真生	○	○	○	○		藤木 栄亮	×	×	×	○
	坂口 妙子	×	×	×	○		塩見みゆき	○	○	○	○		里野 善徳	×	×	×	○
吉瀬 武司	×	×	×	○	竹村 博之	○	○	○	○	無所属クラブ	生野 秀昭	○	○	×	○		

吹田市議会11月定例会は11月26日から12月18日までの予定です。市政をチェックするためにもぜひ、傍聴をお願いします。（感染拡大防止の為、本会議のインターネット視聴の活用のご協力をお願いしています。）

以下、SNS等の情報です。  
Facebook :市民と歩む議員の会  
五十川HPのQRコードはこちら→

